

*** ダニ媒介感染症に関する調査にご協力ください ***

北海道は、ダニに咬まれることによって起こる感染症（以下、「ダニ媒介感染症」）の全国有数の発生地です。ライム病や新興回帰熱の患者は全国で最も多く、道内でのみ患者確認報告のあるダニ媒介脳炎では死亡例も発生しています。

また、近年、発熱や筋肉痛などを主訴とするエゾウイルス感染症やオズウイルス感染症も新たに発見されています。

エゾウイルスは、他のダニ媒介感染症と同様に発熱や筋肉痛を主訴とし、現時点では、北海道でのみ確認されており、感染症法に基づく行政検査の対象とはなっていません。

このため、道立衛生研究所では、ダニ媒介感染症の行政検査に併せて、エゾウイルスを含む調査研究を行うこととしております。

ダニ媒介感染症の対策には、病態の解析、感染のまん延状況の把握等のための調査研究が不可欠であり、これらは、ダニ媒介感染症対策につながる重要な基礎データとなりますので、調査へのご理解とご協力をお願いします。

1 調査について

医療機関でダニ媒介感染症検査票を用い、聞き取りを行います。

※ 行政検査用に採取した検体（血液等）の余りを調査に使用しますので、新たに採血する必要はありません。

※ 検体については、一定期間保管しますが、本調査以外で使用することはありません。

2 調査結果について

医療機関から検査結果が告知されます。

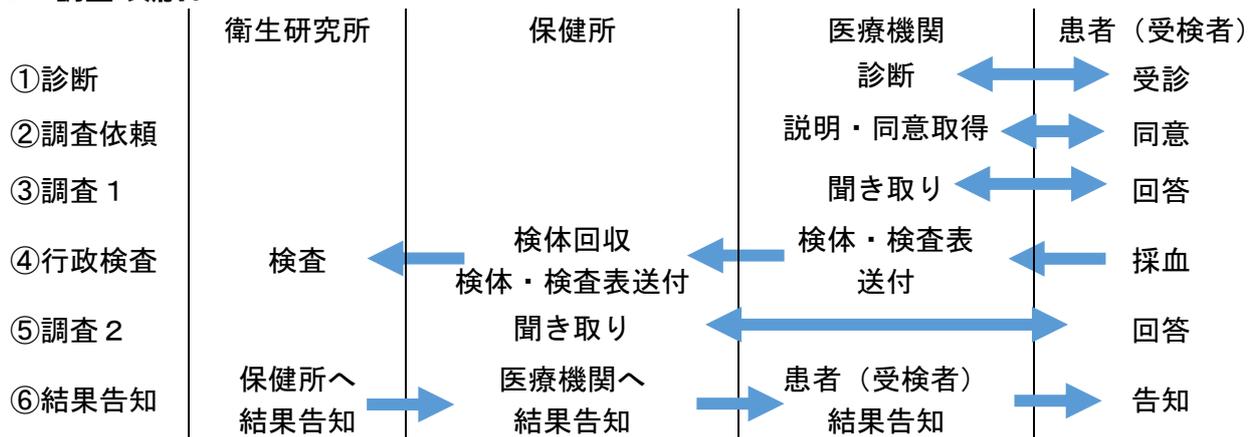
3 検査費用

エゾウイルス検査費用は 無料 です。

4 個人情報の保護

調査の結果は、ダニ媒介感染症の対策に活用するとともに、学会や論文、ホームページ等において公開する予定です。なお、個人情報を公表することはありません。

5 調査の流れ



※ ⑤調査 2 について、③調査 1 と同時に医療機関で調査を行う場合があります。

【問い合わせ先】

※ 本調査の全般に関すること

- 北海道衛生研究所感染症部

〒060-0819 札幌市北区北 19 条西 12 丁目 TEL：011-747-2760

※ 本調査の流れに関すること

- 北海道保健福祉部 感染症対策局感染症対策課感染症係

〒060-8588 札幌市中央区北 3 条西 6 丁目 TEL：011-231-4111（内線：25-532）